風の流れ

【短歌】岡崎　桜雲　選

◆一般投稿作品◆

小春日の城に舞ひ散るいちょう葉に友三人(みたり)寄り昔日しのぶ　中村　定子
神々のささやき聞こゆ午前二時われに向かいて星の飛び来る　山﨑　貴子
竜宮に連れて行かない亀が来てうかがい去った足摺海底館　伊藤　清子
風景を称(たた)へし人は多けれど老い身に険し冬山の里　森本　幸美
陽のあたる当らぬ軒下に咲き分けてベゴニヤは四季老いをなごます　大岸由起子
赤い龍水面を走り城の上夕日となりて町田橋照らす　原　茂
今月の近付く検査気になりて隠した飴をごみ箱に捨てる　岡本　初美
山の秋みやげに持つは真葛(さねかずら)猿梨(さるなし)に榧梅擬(かやうめもど)きなど　小松　敏子
注連縄(しめなわ)を氏子皆(み)んなで作りおるやめてはならぬ大事な行事　五百蔵利美
わが笑顔こわれし顔と笑われつ今日もふりまくこわれし笑顔　小原　子川
チーズケーキ遺影の前で半分こ共に食ぶるよ吾が誕生日　楮佐古きよ
電話線ツバメ何羽かいや群れて何うたいよる遠きの影を　西野地　薫
現在(いま)の吾は人生の終焉(しゅうえん)迎えつつ日々を暮らす悔いのなきよう　高田　清子
仲秋の名月愛(め)でて孫達と潮の満ち干の不思議を語る　公文　千恵
助手席にひとりの夕餉(ゆうげ)の材料とまっ赤な夕陽を乗せて帰りぬ　吉本　悦子
後退(ずさ)りするほど強し蜘蛛の巣にぶつかり潜(くぐ)りて物干しに行く　大石　綏子
移りゆく季節を想ふ塀うちに鳴きゐし蝦蟇(がま)のこゑも失せたり　竹村　咲子
朝一番熱きコーヒー一服す畑の水やり発芽に出会ふ　武内　弘子
風吹けばパラリパラリと銀杏(いちょう)の実冬の近きを想はす風景　小松　禮子
卒寿きてできばえよりは前向きに毛筆たしなみフラも踊りて　門田　明子
今年は柿の生り年たわわなり竹竿の先にはさみて捥(もぎ)る　松中　賀代
今朝の風秋の終りを告げてをり庭の楓も色褪せ散り初む　公文　正子

◆高知アララギ短歌会◆

今君は健やかにあるその幸(さち)と支へくれにし人らを想へ　古川　安子
洗面所に夜ごと現れる小さき虫順応するや逃げるでもなく　小松もとみ
眉しろくなりしかと見る今朝の貌(かほ)すこし俯(うつむ)きもの食ぶるかほ　佐竹　玲子
電線の鳩のつがいは庭に下り桃木にむらがるすずめ幾年前は　古谷　由美
ワクチン接種待つ待合の密となり顔近づけて話すいく組　佐々木真里
山羊が来てこのたび兎の白と茶とコロナ時代を潤う中庭　小松　信子
救急車の行き先はまだ決まらないコロナ禍の中じっと祈る　岩井美知子
久しぶり馬路温泉訪れたりアメゴ椎茸清流の鮎　宮地　亀好

◆「涛光」グループ◆

近頃は味のよしあし脳が決め健康志向といふ味気なさ　小松　美鶴
茄子とれて煮物にしたり炒めたりおすそわけして皆でおいしい　吉川　恵樹
生り物の収穫苦痛な年となり御先祖様に申し訳なく　刈谷美代子
裏先を残して根元を食う猪(しし)の荒らせし後を片付けてゆく　秋　星
甘い物過ぎると思うに検査良し油断はせずにまだこれからも　野村　典子
辛抱と言ふ言葉にぞ支へられ努力といふ字に励まされつつ　野島　富石
もっこりと姿を見せしさつま芋日頃の疲れしばし忘れる　溝渕　龍泉
心込め集中力を切らさずにイタリア歌曲原語で歌う　中村　佐代
瑞々しき朝採れ野菜の並びたる小さな作業場動き始める　尾立ひとみ
マスク生活長くなりたる故なのか新色リップの発売もなく　井上　有子

俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載を希望される方は、掲載月の前月1日までに、ご応募ください。

【投稿先】香美市役所総務課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係
〒782－8501（住所記載不要）　53－5958

木のファーストスプーン作り

　11月1日、11月8日に子育てセンターなかよしと子育てセンターぴらふで、香美市在住の妊婦・乳幼児の保護者を対象に、香美市産材を使った**ファーストスプーン作り**が開催されました。
　このイベントには『緑の募金』が活用されており、小さい頃から木に触れて自然を大切にしてほしいという思いから開催されています。
　15本以上あるスプーンの形に切り抜かれた木の中から好きな樹種を選び、目の粗い紙やすりで形を作り変えた後、徐々に目の細かいやすりでなめらかになるよう仕上げます。電熱ペンを使って子どもの名前やマーク等を書き、最後に食用油でコーティングして完成です。
　会場には託児スペースがあり、日ごろ子育てに励む皆さんも育児から離れ、2時間集中して作りました。
　参加者の皆さんは、我が子のことを考えながら、思い思いに使いやすい形になるように一生懸命作りました。木の心地よさや自然の大切さ、お子さんへのたくさんの愛情が感じられるイベントとなりました。

◀子育て支援センターなかよし

◀子育て支援センターぴらふ

中学生女子相撲大会　準V

　10月2日、京都府立山城総合運動公園体育館で開催された**第19回全日本中学生女子相撲大会**の超軽量級（50㌔未満）の部で、鏡野中学校3年の山下さくら子さんが準優勝に輝きました。
　市長を表敬訪問した山下さんは、「もっともっと練習して日本一になりたい」と今後の抱負を語ってくれました。
　今後ますますの活躍が期待されます。

今年も安全運転を大門松で呼び掛け

　11月26日、香美警察庁舎前に**大門松**が設置されました。
　大門松は、年末年始の交通安全を祈願して、平成3年頃から毎年設置されています。大門松には、『交通安全』と『暴力追放』の横断幕を巻き、1件でも事件・事故がなくなるように呼び掛けています。